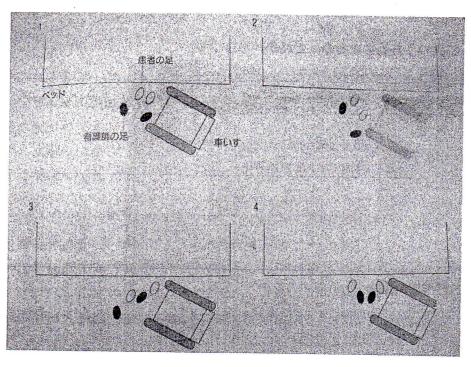
- 1. 室温を 20∓2℃に調整
- 2. 左麻痺がある患者の寝衣交換は左肢から脱がせ、右上肢から着せる
- 3. 脱いだ寝衣は裏地が外側になるように丸めて取り除く
- 4. 側臥衣にして寝衣の背中心を合わせるときには、襟元を第7頸椎棘突起に合わせるとよい

 $\rightarrow 4$ 

ベッドから車いすへの移動補助を開始する際、看護師と患者の足の位置で最も適切なものはどれか。



 $\rightarrow 2$ 

環境調整に際し観察されたことと、それに対する判断との組み合わせで適切なものはどれか。

- 1. 立毛筋の起立が見られる―体熱放散を抑制する生体の変化である
- 2. 冷房している気温と外気-5 $^{\circ}$  $^{\circ}$  $^{\circ}$ 0 $^{\circ}$ 0 範囲内なので適切である
- 3. 夜間、病室の音の強さは一騒音にかかわる基準の範囲内である
- 4. 不快指数が 60 だった―60 以上なので「一般に不快」である

 $\rightarrow 1$ 

導尿の手技について正しいのはどれか。

1. 男性の留置カテーテルを腸骨部に固定するのは、陰嚢・陰茎の皮膚接触部のびらん予